

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

養殖中のノリやカキが食べられてしまう食害を防ぐため、チヌ（クロダイ）を食べて減らそうとする試みが岡山県内で広がっています。記事を読み質問に答えましょう。

低学年もチャレンジ!

**Q1** チヌを食べて減らすには、おいしく味わえる工夫も必要になります。何かアイデアはないかな。写真と記事も参考に書いてみよう。

◇「さん太のワークシート」は自由でダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。

**Q2** 備前市はチヌのレシピカードを作っています。4種類ある料理を答えましょう。

**Q3** 倉敷市の小中学校と支援学校では、来年度からチヌ料理を給食で提供します。チヌを味わってもらうだけでなく、何を目的にしていますか。次の三つから正しいものを選びましょう。

- ①給食にかかるお金を少なくする
- ②食害問題を身近に感じられる機会にする
- ③食べ残しを減らす

過去の問題は  
こちらから▶▶



# チヌ食べて 食害抑止

チヌ（クロダイ）が養殖中のノリやカキを食べてしまう食害問題。そんな「厄介者、を食べて減らそう」という試みが岡山県内で広がっている。水産関係団体はフィッシュ&チップスにして売り込み、備前市はレシピカードを作って消費を促す。倉敷市の小中学校では来年度からチヌを給食に採用するなど、あらゆる手法に挑戦している。（良田桃子）

## 岡山県内自治体や水産団体「厄介者、対策」

衣を付けた一口サイズのチヌがフライドポテトと一緒に紙コップに盛り、親子連れがおいしそうに頬張る。

4月下旬、岡山市中区東川原の河川敷で開かれた地域の祭りにフィッシュ&チップスの出店が登場し、人気を集めた。外はサクサク、中は身はふわふわで、タルタルソースがよく合う。1個500円で販売したところ、約70食が売れた。

水産加工会社などでつくる官民団体「岡山水産物流通促進協議会」（通称・おかと）が、食害問題の深刻化を受けて企画し、出店した。森下倫年会長（70）は「チヌはもとともと岡山でよく食べられていた魚だが、人気のマダイなどに押されて食卓から遠のいていく。チヌ（クロダイ）が養殖中のノリやカキを食べてしまう食害問題。そんな「厄介者、を食べて減らそう」という試みが岡山県内で広がっている。水産関係団体はフィッシュ&チップスにして売り込み、備前市はレシピカードを作って消費を促す。倉敷市の小中学校では来年度からチヌを給食に採用するなど、あらゆる手法に挑戦している。（良田桃子）

## レシピ作成、学校給食採用



祭りの出店でチヌのフィッシュ&チップスを味わう来場者。4月23日、岡山市中区東川原の河川敷

備前市が作成したチヌのレシピカード

又、冬に収穫期を迎えるノリ、春に成長するカキの稚貝を食い荒らす。チヌは本来、冬場になるとおとなしくなるが、カキを食べてしまうという説もある。

又、チヌの食害 岡山県内では海水温の上昇で動きが活性化し、食害を引き起こしていると言われている。チヌの餌であるワジツボやムラサキイガイが減ったため、ノリやカキを食べてしまうという説もある。

又、チヌの食害 岡山県内では海水温の上昇で動きが活性化し、食害を引き起こしていると言われている。チヌの餌であるワジツボやムラサキイガイが減ったため、ノリやカキを食べてしまうという説もある。

又、チヌの食害 岡山県内では海水温の上昇で動きが活性化し、食害を引き起こしていると言われている。チヌの餌であるワジツボやムラサキイガイが減ったため、ノリやカキを食べてしまうという説もある。